

安心・安全なタクシー事業を守り施策推進を 求める要請

コロナウイルス感染拡大防止に向けて県内各地では様々な対応を実施しています。緊急事態宣言が解除された今でも地域での外出の自粛率は高い状況です。まだ収束とはならず、感染第2波への警戒も行いながら地域経済の再興に向けて取り組んでいかなければなりません。

この状況下、タクシー事業は自粛による顧客の激減による経営状況の悪化で、コロナウイルス感染の危険性に向けて取り組みながら、安心・安全な地域の足として業務を担っています。

今回、従来の取り組みにコロナウイルス感染症対策も含めた事項を二戸地区と久慈地区に対し要請を行いました。要請にあたって県北地域協議会推薦議員の豊巻直子久慈市議、五日市王県議、高村人司二戸市議に立ち会っていただきました。

《 要請事項 》

- 1・高齢者の生活を支える取り組みへの支援について
- 2・タクシー利用券・「買い物代行利用券」について
- 3・ハイタク産業で従事する労働者の声明を守る取り組みについて
- 4・深夜営業の支援について

《 要請団体代表者 》

岩手県タクシー協会二戸支部	支部長	漆田 栄一
岩手県タクシー協会久慈支部	支部長	鹿糠 幸司
全自交岩手地方本部	執行委員長	森 茂
連合岩手県北地域協議会	議長	中田 茂
平和環境二戸郡労センター	議長	荒木 裕之
平和環境久慈地区センター	議長	三浦 健二

具体的には高齢者の生活を守り支える取り組みの中で、外出自粛により買い物に支障をきたしている現状に対し、買い物代行タクシーを運行し、自宅にお届けするサービスの運営面での支援、運転免許返納による移動の困難な方々への「タクシー利用券」「買い物代行利用券」の作成・配布への支援。

コロナウイルス感染の危険の中で業務を続けているハイタク労働者に「防護服・マスク・消毒液・手袋等」の衛生素材の供給、運転手と顧客の感染防止のための仕切りの設置費用の支援。

緊急時を含め深夜の重要な県民の移動手段が需要の低迷と感染防止の影響で利用者の激減により深夜営業の継続が困難な実情に対する24時間サポートへの支援などを要請しました。

タクシー協会久慈支部の鹿糠支部長から、久慈市区のタクシーの利用状況は日中で4割から5割程度、夜は7割程度の減少という厳しい状況を説明しました。

久慈市の遠藤市長からは最初に「タクシー業は必要であり、なくてはならない業種です」と話され、タクシーの重要性についての認識を示していただきました。

両市とも、タクシー事業の現状を確認しつつ、支援策を検討していく方向で回答をいただきました。その中で二戸市としてはタクシー・代行業者への支援を実施したいとして内容の説明をいただきました。

また、持続化給付金の申請の対象にならない事業者への支援を含め市独自支援策の検討を進めているとの状況報告をいただきました。

5月15日に久慈市へ要請

写真左から遠藤謙一市長・タクシー協会の鹿糠支部長
 全自交の東館書記長



5月27日に二戸市へ要請

写真左から中田茂議長・全自交の東館書記長・タクシー協会の漆田支部長・大沢治副市長

